

執筆者紹介

(執筆順、*印は編者)

しんどう えいち
*進藤 榮一

はしがき、終章

1939年生まれ。京都大学法学部卒。法学博士。オースティン・カレッジ、メキシコ大学大学院、サイモン・フレーザー大学およびコペンハーゲン大学客員教授、筑波大学大学院教授などを経て、現在同大学名誉教授および江戸川大学教授。主要著書に『東アジア共同体をどうつくるか』（筑摩書房、2007年）、『公共政策への招待』（日本経済評論社、2003年）、『分割された領土——もうひとつの戦後史』（岩波書店、2002年）、『現代国際関係学——歴史・思想・理論』（有斐閣、2001年）、『戦後の原像——ヒロシマからオキナワへ』（岩波書店、1999年）、『アメリカ黄昏の帝国』（岩波書店、1994年）、『現代紛争の構造——非極モデルの構築のために』（岩波書店、1987年）他多数。専門は国際政治経済学および公共政策学。

みと たかみち
*水戸 考道

序、第1章、第12章、あとがき

1954年生まれ。国際基督教大学卒。筑波大学博士（法学）。トロント大学助手、ケンブリッジ大学国際関係大学院教官、ロンドン大学講師、豪州モナシュ大学大学院日本研究科高等講師、九州大学教授を経て、現在香港中文大学日本研究科教授。共編著書には『アジア太平洋地域における日本研究』（香港日本語研究会、2007年）、『石油市場の政治経済学——日本とカナダにおける石油産業規制と市場介入』（九州大学出版会、2006年）や State Power and Multinational Oil Corporations: The Political Economy of Market Intervention in Canada and Japan 九州大学出版会2001年など多数。専門は国際政治経済学および日本研究。

たけなか よしひこ
竹中 佳彦

第2章

1964年生まれ。1991年筑波大学大学院博士課程社会科学研究科修了。法学博士。筑波大学社会科学系助手、北九州大学法学部講師、同助教授、北九州市立大学法学部教授、筑波大学大学院人文社会科学系研究科現代文化・公共政策専攻助教授を経て、現在同准教授。著作には『日本政治史の中の知識人——自由主義と社会主義の交錯』（上・下、木鐸社、1995年）、蒲島郁夫・竹中佳彦『現代日本人のイデオロギー』（東京大学出版会、1996年）、松岡完・広瀬佳一・竹中佳彦編『冷戦史——その起源・展開・終焉と日本』（同文館出版、2003年）など多数。専門は政治学および日本政治論。

いけだ しんたろう
池田 慎太郎

第3章

1973年生まれ。南山大学卒。筑波大学大学院博士課程社会科学研究科修了。博士（法学）。

筑波大学社会科学系準研究員を経て、現在広島市立大学国際学部准教授。単著に、『日米同盟の政治史——アリソン駐日大使と「1955年体制」の成立』（国際書院、2004年）、共著に、川島真・服部龍二編『東アジア国際政治史』（名古屋大学出版会、2007年）、浅野豊美編『南洋群島と帝国・国際秩序』（慈学社、2007年）、波多野澄雄編著『池田・佐藤政権期の日本外交』（ミネルヴァ書房、2004年）、松岡完・広瀬佳一・竹中佳彦編著『冷戦史——その起源・展開・終焉と日本』（同文館出版、2003年）ほか。専門は日本政治外交史。

せばた たかお
瀬端 孝夫

第4章

1951年生まれ。筑波大学大学院修士課程地域研究研究科、カリフォルニア州立大学修士課程国際関係研究科（MA）、デンバー大学大学院博士課程国際関係研究科修了（Ph.D.）。日本国際交流センタープログラムオフィサー、日米欧委員会事務局スタッフ、国連開発計画プログラムオフィサー、筑波大学非常勤講師、インターナショナルパシフィック大学（ニュージーランド）助教授を経て、現在県立長崎シーボルト大学国際情報学部国際交流学科教授。単著としては『防衛計画の大綱と日米ガイドライン——防衛政策決定過程の官僚政治的考察』（木鐸社、1998年）。また共編著には『欧米における政策研究の動向 特集4 先進国共通問題』（総合研究開発機構、1982年）など多数。専門は国際関係学。

かしわぎ しほ
柏木 志保

第5章

1972年生まれ。桜美林大学国際学部国際学科卒業。筑波大学大学院地域研究研究科および社会科学研究科修士課程、同大学院社会科学研究科修了、法学博士。筑波大学大学院社会科学研究科博士特別研究員を経て、現在筑波大学大学院地域研究研究科準研究員。専門は国際開発論。

かわべ いちろう
河辺 一郎

第6章

1960年生まれ。東京都立大学人文学部卒。現在愛知大学教授。主著『国連と日本』（岩波書店、1994）、『日本外交と外務省——問われなかった“聖域”』（高文研、2002）、『国連政策』（日本経済評論社、2004）、『日本の外交は国民に何を隠しているのか』（集英社、2006）。専門は日本外交および国連問題。

はたの すみお
波多野 澄雄

第7章

1947年生まれ。慶応義塾大学法学部卒業。同大学院法学研究科修了（法学博士）。防衛庁防衛研究所所員、筑波大学大学院人文社会科学研究科教授。同研究科長などを経て、現在筑波大学副学長。単著には『「大東亜戦争」の時代——日中戦争から日米英戦争へ』（朝日出版社、1988年）、『幕僚たちの真珠湾』（朝日新聞社、1991年）『太平洋戦争とアジア外交』（東京大学出版会、1996年）、また共編著に『現代日本の東南アジア政策、1950-2005』（早稲田大学出版部、2007年）、*The End of the Pacific War, Reappraisals* (Stanford U. P., 2007) など。専門は国際関係史および日本外交史。

たかふじ ひでき
高藤 英樹

第8章

1962年生まれ。筑波大学大学院社会科学研究所博士課程単位取得満期退学。筑波大学・法学博士。日本学術振興会特別研究員、広島修道大学法学部国際政治学専任講師、助教を経て、現在日本医療科学大学兼任教員。「比較政治過程論」砂田一郎・藪野祐三編『比較政治学の理論』（東海大学出版会、1990年）、「マレーシア（ASEAN 担当）」毛里和子・森川祐二編『図説ネットワーク解析——東アジア共同体の構築 第4巻』（岩波書店、2006年）、*Political Development of the Asia Countries in Comparative Perspective: Political Stability and Party System in Malaysia*（近刊予定）。専門は比較政治学および東南アジア・アジア政治研究。

いわさき まさゆき
岩浅 昌幸

第9章

1964年生まれ。慶應義塾大学法学部卒。筑波大学大学院社会科学研究所博士課程、日本学術振興会特別研究員、筑波大学準研究員等の研究職と実務経験を経て、現在社会福祉法人慈陽会常務理事、成蹊大学講師。法学修士。著作には「アジア型農業安全保障への道」『農が拓くアジア共同体』（日本経済評論社、2007年）、「健康権と共同保健体制の構築」進藤榮一・平川均編『アジア共同体を設計する』（日本経済評論社、2006年）、「日本国憲法」「大日本帝国憲法」西村俊一ほか編『国際教育事典』（アルク社、1991年）、など。専門は保健法政策学および公法学。

おむ ほん
蔵 浩建

第10章

1956年生まれ。東京都立大学法学部卒後、韓国延世大学大学院行政学研究科および慶応義塾大学大学院法学研究科修士課程修了。筑波大学大学院人文社会科学研究所国際政治経済学専攻、法学博士（神戸学院大学）。現在韓国統一情報分析室コンサルタント、韓国月刊『軍事世界』編集主幹および副社長、東京工業大学社会理工学研究科特別研究員。専門は国際関係学・国際政治学および東アジアの安全保障研究。

こばやし まこと
小林 誠

第11章

1960年生まれ。東京大学大学院法学政治学研究科博士課程単位取得退学。立命館大学国際関係学部教授、横浜市立大学国際総合科学研究院・国際総合科学部教授を経て、現在お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科教授。ケンブリッジ大学客員研究員等歴任。主な共著作には小林誠・遠藤誠治編『グローバル・ポリティクス——世界の再構造化と新しい政治学』（有信堂高文社、2000年）、関下稔・小林誠編『統合と分離の国際政治経済学——グローバリゼーションの現代的位相』（ナカニシヤ出版、2004年）、佐藤誠・安藤次男編『人間の安全保障——世界危機への挑戦』（東信堂、2004年）、安藤次男・奥田宏司・原毅彦・本名純編『ニューフロンティア国際関係』（東信堂、2006年）など。専門は国際政治学・国際関係学。